

判例タイムス-16 : 270頁

イ 一方が明らかに広い道路である場合 ①

(ア) 自転車広路・四輪車狭路

【192】

(イ) 自転車狭路・四輪車広路

【193】

| 基 本 | | (ア) (A) 10 : (B) 90 | (イ) (A) 30 : (B) 70 |
|------|------------------|---------------------|---------------------|
| 修正要素 | 夜間 | * | + 5 |
| | 見とおしのきく交差点 ② | * | * |
| | (A)右側通行・左方から進入 ③ | + 5 | + 5 |
| | (A)の著しい過失 | + 10 | + 10 |
| | (A)の重過失 | + 15 | + 15 |
| | 児童等・高齢者 | - 5 | - 5 |
| | (A)の自転車横断帯通行 | - 5 | - 10 |
| | (B)の著しい過失 | - 5 | - 10 |
| | (B)の重過失 | - 10 | - 20 |

① 明らかに広い道路（広路）とは、「幅員が明らかに広い」道路の意である（法36条2項・3項）。
「明らかに広い」とは、自動車の運転者が交差点の入口においてその判断により道路の幅員が客観的にかなり広いと一見して見分けられるものをいう。

② 見とおしのきく交差点の場合は優先道路と同一の基準を適用してよい。

③ 【191】の注③参照。

*は修正要素として考慮しないものである。

第4 自転車と四輪車・単車との事故